

## PE 道場と技術士

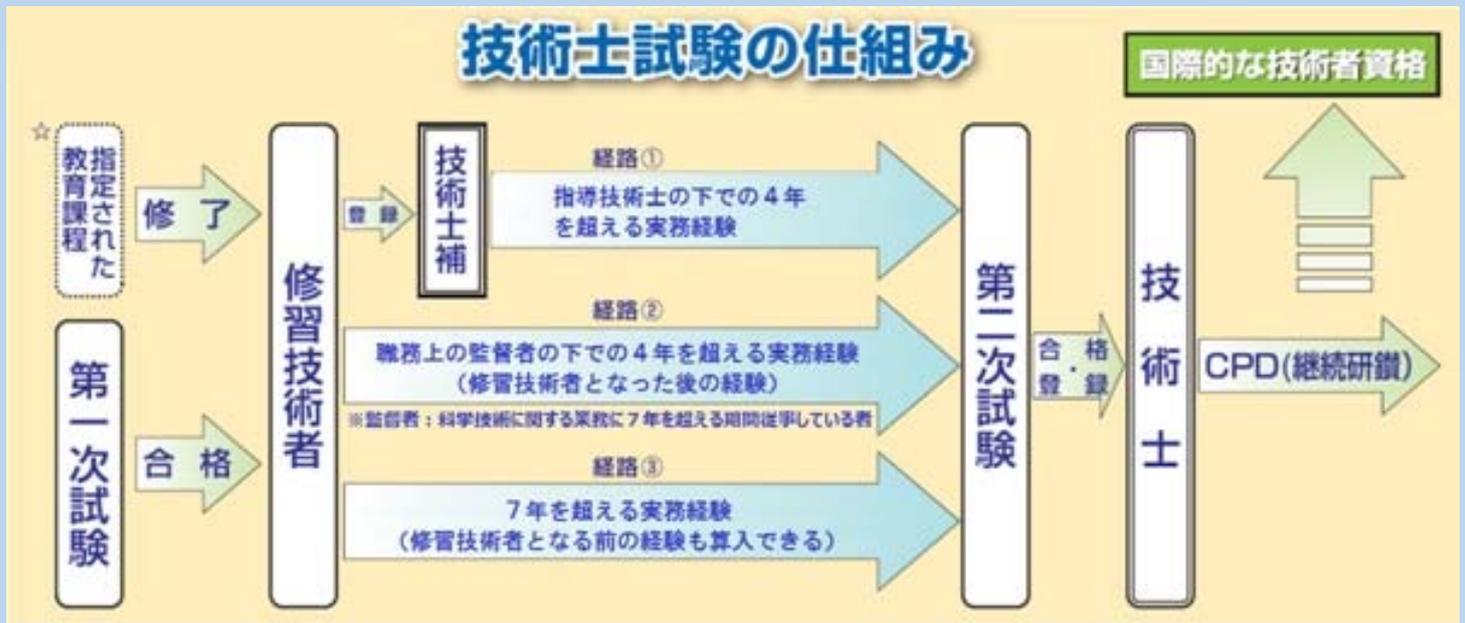
PE 道場とは、技術士法で定められた国家資格である技術士の資格取得のための勉強を行う場です。2019 年度からの試験方法改正にも対応しています。

PE 道場を知る前には、まず「技術士」について知っておく必要があります。技術士制度についてはホームページ（技術交流フォーラム）でも技術士制度がアップされていますが、以下に示すとおり国家資格であると共に、日本のエンジニア資格の中でも最高峰と言われる大変名誉ある資格です。

## 技術士制度

「技術士」は、「技術士法」に基づいて行われる国家試験（「技術士第二次試験」）に合格し、登録した人だけに与えられる称号です。国はこの称号を与えることにより、その人が科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを認定することになります。

一方、「技術士補」は、同じく「技術士法」に基づく国家試験（「技術士第一次試験」）に合格もしくは J A B E E 認定修了者で、登録した人だけに与えられる称号です。技術士補は、技術士となるのに必要な技能を修習するため、技術士を補助することになっています。なお、技術士および技術士補は、技術者倫理を十分に守って業務を行うよう法律によって課されています。また、(公社)日本技術士会で技術士倫理要綱が定められています。



技術士会 HP より

## 試験の内容（一次試験）

問題の種類		解答時間
基礎科目	科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題	1 時間
適性科目	技術士法第四章の規定の遵守に関する適性を問う問題	1 時間
専門科目	当該技術部門に係る基礎知識及び専門知識を問う問題	2 時間

## 試験の内容（二次試験）

### ・筆記試験

#### (1)総合技術監理部門を除く技術部門

問題の種類		解答時間
必須科目	技術部門全般にわたる専門知識、応用能力、問題解決能力及び課題遂行能力に関するもの	2 時間
選択科目	選択科目についての専門知識及び応用能力に関するもの	3 時間 30 分
	選択科目についての問題解決能力及び課題遂行能力に関するもの	

#### (2)総合技術監理部門

問題の種類		解答時間	
必須科目	総合技術監理部門に関する課題解決能力及び応用能力	択一式	2 時間
		記述式	3 時間 30 分
選択科目	選択した「技術部門」全般にわたる専門知識、応用能力、問題解決能力及び課題遂行能力に関するもの	2 時間	
	選択した技術部門に対応する「選択科目」についての専門知識及び応用能力に関するもの	3 時間 30 分	
	選択した技術部門に対応する「選択科目」についての問題解決能力及び課題遂行能力に関するもの		

※既に総合技術監理部門以外のいずれかの技術部門について技術士となる資格を有する者は、当該技術部門に対応する選択科目が免除される。

### ・口頭試験

#### (1)総合技術監理部門を除く技術部門

試問事項	試問時間
技術士としての実務能力 技術士としての適格性	20 分

#### (2)総合技術監理部門

試問事項	試問時間
(必須科目に対応) 総合技術監理部門」の必須科目に関する技術士として必要な専門知識及び応用能力 (選択科目に対応)	20 分
技術士としての実務能力 技術士としての適格性	※20 分

※選択科目に関する口頭試験は、総合技術監理部門以外の技術部門の口頭試験にて別途行うこととする。また、選択科目が免除される者は必須科目のみの試問とする。

## PE 道場での取組み

現在は、公共事業のあり方、事業のグローバル化、国内建設市場の開放、海外建設市場の開拓などの急激な自由化に伴って、技術者の国際化・評価基準化による信用向上の必要性が急激に社会に広まっています。また、地方時代の到来の中で、地方の技術者の資質向上と技術や経験の継承が求められています。我々は、この時代の要求に応えるべく社会に認知される技術者として**技術士を育成することが急務**だと考えています。

このような背景の中我々は、技術士育成のために、PE道場を媒体に以下の活動を行っています。

「技術士」取得には、困難な試験を突破しなければなりません。道場ではその試験突破に向かって、我々スタッフが受講生の指導にあたりますがその指導方法は、論文の基本的な書き方から、受講生が作成した想定問題論文の読合せ、模擬試験など様々な指導を行っております。詳しくは下記のスケジュールをご参照ください。また、その他に受講生同士のディスカッションや勉強方法などの情報交流が行われ互いに研鑽しあいながら、技術士突破に向けた相乗効果が図られています。

### PE道場での学習風景



指導状況



模擬口答試験



模擬試験



APEC講習会

平成31年度PE道場タイムスケジュール予定表(案)

	二次試験スケジュール	PE道場スケジュール予定
2月		オリエンテーションの実施(2/9) 半日 ・受講に当たっての心構え ・各人の勉強方法とモチベーション維持 ・講師との経歴について議論 ・経歴書の書き方(1) etc.
		第1回(2/16) ・経験論文と業務の棚卸し
3月		第2回(3/16) ・経験論文に関する内容討議 経歴書の書き方 文章の作法(わかりやすい文章) 選択過去問の傾向分析と勉強法確認
4月	受験申込書等配布期間 4月1日(月)~4月24日(水)  受験申込受付期間 4月8日(月)~4月24日(水)	第3回(4/13) ・建設一般(課題解決①)グループ討議 論文の書き方(文章作法の基本原則) 受験申込書内容・
5月		第4回(5/11) ・専門(課題解決②)グループ討議 選択論文の添削を踏まえた指導
6月		第5回(6/1) ・専門(課題解決③)グループ討議 選択論文の添削を踏まえた指導
		第6回(6/15) 模擬試験(本番と同じ時間割)
7月	7月15日(日) 筆記試験	第7回(7/6) 模擬試験に対する確認
9月		
10月	筆記試験合格発表	口頭試験対策に関するアドバイス
11月		筆記試験合格者に対する模擬面接を実施。
12月	筆記試験合格者口頭試験	

※内容については、予定で変更の可能性有り。受講生のレベルも考慮します。

※添削指導は、PE道場開始と同時に随時実施。

※受講者は筆記試験の結果を報告して頂きます。また、二次試験合格者の方には合格体験記を提出して頂きます。